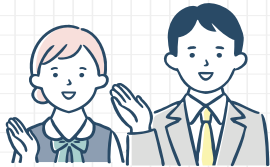


Q 委員会とは？

A 議員全員が参集する本会議の下審査機関として、専門的・能率的な審査や、重要な事柄についての調査をするための会議です。



常任委員会

部門別に、本会議から付託された議案や送付された陳情の審査、所管する事項の調査などを行う委員会で、以下の4つの委員会があります。

- 総務委員会：危機管理課、企画部、総務部、財務部、消防本部、他の委員会の所管に属さない事項に関すること
- 福祉委員会：福祉部、子ども健康部、市民病院に関すること
- 市民文教委員会：市民部、教育委員会に関すること
- 産業建設委員会：産業環境部、建設部、都市整備部、上下水道部に関すること

特別委員会

常任委員会とは別に、市の重要な課題など特定の事柄について、専門的に審査や調査を行う委員会です。政策課題調査特別委員会、予算特別委員会、決算特別委員会があります。

こんなことを聞きました

委員会で行った調査について、主な質疑・答弁を掲載します。

整備工事に向けた実施設計を作成

政策課題調査特別委員会

10月29日

分庁舎等整備工事实施設計書(案)

分庁舎等整備工事实施設計書(案)について説明を受けました。
主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】 車庫棟と分庁舎棟を分離発注することにより事業費を削減できるとのことだが、その理由は。

【答】 共通仮設費や現場管理費などの諸経費は、工事期間の長さが事業費に反映される。分離発注し、それぞれの工事に要する期間から諸経費を算出した場合では、一括発注した場合と比較して約6000万円の削減効果が見込める。

【問】 災害時に利用する部屋の空調方式に、電気式ではなくLPガス方式を採用した理由は。

【答】 コスト面では割高であるが、停電時に既存の自家発電設備からの起動が可能であり、水道設備の復旧を早期に進める災害活動の拠点としての機能維持のため、メリットがあると考ええる。

事業費縮減に努め、実施設計を作成

総務委員会

12月12日

所管事務調査

一宮地域交流会館(仮称)
実施設計説明書(案)

一宮地域交流会館(仮称)実施設計説明書(案)について説明を受けました。
主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】 生涯学習センター、いちのみや児童館、一宮体育センターの解体時期と解体後の跡地利用は。

【答】 生涯学習センター、いちのみや児童館は、新しい複合施設に機能移転する9年5月以降、一宮体育センターは、体育施設供用開始後の11年4月以降に解体。跡地利用は現時点では未定だが、施設所管課と連携し計画的に進める。

【問】 農業者トレーニングセンターを7年9月頃に解体することだが、新しい体育館の供用開始までの避難所機能の考え方は。

【答】 当該施設が利用できない整備期間中においても、一宮中学校区の他の避難所で最大想定避難者数を充足できるため、二宮地区の避難所機能は維持できるものと考えている。

健康増進計画と自殺対策計画を一体的に策定

福祉委員会

12月12日

所管事務調査

第3次とよかわ健康づくり計画(案)

第3次とよかわ健康づくり計画(案)について説明を受けました。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】本市の自殺者の傾向や特徴から考えた具体的な施策は。

【答】男性高齢者の自殺死亡率が県平均と比較して特に高い。居場所づくりや見守り訪問活動等の支援を推進するほか、地域包括支援センターの多機関協働による包括的な相談体制づくりに努める。全世代への対策としては、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人(ゲートキーパー)の養成を、新たな施策として推進する。

【問】計画の周知についての考えは。

【答】周知の対象として注力すべきは、健康への関心が薄い人であると捉え、健康づくりのイベントに限定せず、多くの方が集まるイベントで周知活動を行うなど、工夫に努めつつ取り組んでいく。

産業建設委員会

12月13日

所管事務調査

環境基本計画2020の中間見直し(案)

環境基本計画2020の中間見直し(案)について説明を受けました。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】市民アンケートや環境審議会の意見から計画に反映した項目は。

【答】アンケートでは、関心のある環境問題は「地球温暖化」が約7割を占め、再エネ設備やエコカー導入費補助を求める回答が上位にあることから、脱炭素ライフスタイル総合的支援プロジェクトを、環境審議会では、2050カーボンニュートラル実現のために、市民・事業者の模範となる行政の率先行動を記載すべきとの意見があり、公共施設等の脱炭素化整備推進プロジェクトを、それぞれ重点プロジェクトとして位置付けた。



市民文教委員会

12月13日

所管事務調査

第2期スポーツ振興計画(改訂版)(案)

第2期スポーツ振興計画(改訂版)(案)について説明を受けました。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】今回の改訂において重点として位置づけた施策は。

【答】障害者スポーツの振興、指導者・ボランティアの育成に係る取り組みの2点。

【問】基本目標に「多様な主体が参画できるスポーツ機会の創出」を掲げているが、外国人への方策は検討しているか。

【答】外国人を含むすべての人を計画の対象としている。具体的な対応としては、通訳や翻訳事業を利用するなど、個別の対応を考えている。

